

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年8月21日
明治大学の所属学部・研究科	理工学部情報科学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年8月18日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2023年5月～2023年8月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 1 月上旬～5 月中旬 2 学期: 8 月中旬～12 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	45,057
創立年	1868 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (USD)	日本円	備考
授業料	6515	880000 円	
宿舍費	5600	770000 円	食事込み
食費	200	30000 円	外食分
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	100	15000 円	SIM card
現地交通費	100	15000 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	100	15000 円	
被服費	0	円	
医療費	0	円	
保険費		28300 円	形態:大学指定
渡航旅費		223000 円	
ビザ申請費		80000 円	
雑費	0	円	
その他	0	円	
その他	0	円	
合計	18000	2300000 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:NRT 目的地:SFO 経由地:	
復路 出発地:SFO 目的地:HND 経由地:LAX	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:American/JAL 料金:¥223000	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JCB) <input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International house)	<input type="checkbox"/> アパート
<input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ
<input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可	<input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:	
公式サイト、留学報告書	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
設備面では、多少古い(例えばエレベーターがヨーロッパの昔のお城にありそうな雰囲気)ですが、生活するには十分でした。滞在中の人の面では、交流が活発な印象がありました。特にダイニング、ホール、キッチンなどの共有スペースでは誰かしら知人に出会い話が弾むことが多かったです。大多数は一時的に滞在中の留学生ですが、現地生や大学院生、researcher studentに出会うこともありました。日本で生活していたら交流がなかったような方が多く、良い刺激になりました。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
Berkeley warn me のメール、日が暮れた後は複数人で行動し、外を歩くときは周りをよく見て気を抜かないようにしましょう。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
寮、キャンパス、カフェ等では基本的に WIFI が使用可能、接続が途切れることはたまにあるが大きな支障はなかった。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
クレジットカード、日本からアメリカドルを持って行った	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。	
薬、化粧品	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	
クレジットカード、渡航前の指定期限内	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Leadership	
科目設置学部・研究科	UGBA
履修期間	A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Daniel Mulhern
授業内容	リーダーシップに関して、複数のフレームワークを使用し、事例と共に学ぶ。講義、ディスカッション、グループワーク、オフィスアワーなどを通して多角的に学ぶ。
試験・課題など	レポート、クイズ形式の中間期末
感想を自由記入	ゲストスピーカーと交流する機会や、ワークショップなどもあり充実していました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Special Topics in Operations and Information Technology Management	
科目設置学部・研究科	UGBA
履修期間	A
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義メイン (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Richard A Huntsinger
授業内容	データサイエンスに近いが、ビジネスの事例を交えて学ぶことができる。R 言語を使用する。
試験・課題など	毎授業に対するコーディングの課題と 3 回のオンライン試験がある。HaaS の中でも重めの授業と言われている。
感想を自由記入	主要なデータサイエンスの手法を一通り学ぶことができる。実際の大規模データに適用するプロジェクトを通して実践的に習得することが重視されていたように感じました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
User Interface Design and Development			
科目設置学部・研究科	EECS		
履修期間	C		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション、プロジェクト (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 4 回		
担当教授	Katherine W Song, Ace Chen, Hridhay Raghav Suresh		
授業内容	ユーザーリサーチ、デザイン、アプリ開発を一通り学び、実践する。		
試験・課題など	プロジェクトベースの授業であり、リサーチ、インタビュー、開発、レビューを行いそのプロセスや結果の資料提出する。試験はない。		
感想を自由記入	全体的に学生の実力が高く、最終的に作成したドキュメントとアプリケーションはかなり本格的なものとなりました。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
外資就活、Onecareer
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
外資系 IT 企業
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
就活が終わってから留学に行きました。時間があるときに、就活中の友人の ES の添削や面接練習をしていました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
N/A
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
N/A
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。
N/A

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	学内選考
留学開始年	1月～3月	出願、ビザ申請・取得、航空券購入、滞在先の確保
	4月～7月	留学
	8月～9月	留学
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

バークレー校を選んだ理由として、学業の面では、コンピューターサイエンスを学ぶ世界トップの環境である、かつ HaaS ビジネススクールの両方があるため、自分の目標であったグローバルな環境で tech と business 両方を学ぶことができると考えました。また、課外活動の面では、シリコンバレーの近くに位置することによってアカデミックな学びに加えて、現地の IT 企業が開催するカンファレンス、Meetup などのイベントに参加しやすい、また、テクノロジー関連の交流が活発なカルチャーがあると考えたためです。

これから留学を目指すみなさんへ

留学中は授業以外にも現地でのイベントや新しい人会ってみたり、新しいことに挑戦してみたりするのがおすすめです。情報を集めることを意識して、留学前も留学中も現地の情報にアンテナを張っておくことを頭の片隅に置いておいて欲しいです。英語を伸ばす、異文化に触れる、専門分野を深める、それぞれの目的があると思いますが、留学先では、日本での普段の生活と異なることに挑戦できる機会が多くあります。しかしそのような機会は、自分から積極的に探しに行かなければ、知らないままかもしれません。留学というせっかくの機会を十分に活用するためにも、検索して得られる情報はもちろん、SNS や留学していた先輩方、現地に住んでいる友人などに聞いてみることで、一層充実した留学生活につながると感じています！)

PS: バークレーからサンフランシスコに行くときは F バスがおすすめです。BART より治安が良く、学生証で無料で行けます。